

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年4月26日~5月7日)

発表日: 2010年4月23日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(4月26日~5月7日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
4月26日 (月)	8:50 3月企業向けサービス価格指数 (前月比) (前年比)	— —	— —	— —	+0.1% ▲1.3%
4月27日 (火)					
4月28日 (水)	8:50 3月商業販売統計 小売業販売額(前年比)	+4.8%	+3.6%	+2.4%~+4.8%	+4.2%
4月29日 (木)	昭和の日				
4月30日 (金)	8:30 3月消費者物価指数・全国コア (前年比) 全国総合 (前年比)	▲1.2% ▲1.1%	▲1.2% ▲1.1%	▲1.3%~▲1.0% ▲1.2%~▲1.0%	▲1.2% ▲1.1%
	8:30 4月消費者物価指数・東京コア (前年比) 東京総合 (前年比)	▲2.1% ▲2.0%	▲2.1% ▲2.1%	▲2.4%~▲1.6% ▲2.3%~▲1.6%	▲1.8% ▲1.8%
	8:30 3月労働力調査 完全失業率	4.9%	4.9%	4.8%~5.1%	4.9%
	8:30 3月一般職業紹介状況 有効求人倍率	0.48倍	0.48倍	0.47倍~0.49倍	0.47倍
	8:30 3月家計調査(農林漁家世帯を含む) 実質消費支出・全世帯(前年比) 実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	+0.1% ▲1.5%	+0.7% —	▲1.0%~+2.1% —	▲0.5% ▲2.2%
	8:50 3月鉱工業生産指数 (前月比) (前年比)	+0.5% +30.9%	+0.8% +31.1%	0.0%~+1.2% +29.7%~+32.9%	▲0.6% +31.3%
	10:30 3月毎月勤労統計 名目賃金 (前年比)	—	—	—	▲0.7%
	14:00 3月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比) (季調値年率)	▲4.2% 83.9万戸	▲5.8% 82.6万戸	▲10.7%~+0.3% 78.3万戸~87.8万戸	▲9.3% 79.4万戸
	15:00 4月日銀展望レポート 15:30 日銀総裁定例記者会見 金融政策決定会合				
5月3日 (月)	憲法記念日				
5月4日 (火)	みどりの日				
5月5日 (水)	こどもの日				
5月6日 (木)	14:00 4月新車販売台数 軽乗用車 (前年比) 14:15 乗用車 (前年比)	— —	— —	— —	+0.2% +40.7%
5月7日 (金)	8:50 4月マナタリベース (前年比) 14:00 3月家計消費状況調査	— —	— —	— —	+2.1%
未定	14:00 企業行動に関するアンケート調査				

(注) 市場予測はBloomberg、日経quick調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

3月小売業販売額(前年比) 当社予想: 前年比 +4.8% 中央値: 同 +3.6%

3月の小売業販売額は前年比+4.8%、前月比+0.9%を予想する。百貨店売上高は、下旬に気温が低下したことや前年に比して日曜日が1日少なかった等のマイナス要因もあったが、前年比でのマイナス幅が縮小した。一方、チェーンストア統計やコンビニでは前年比マイナス幅が拡大している。強弱入り混じる結果となったが、景気ウォッチャー調査などにおいては、前向きなコメントが多く見られており、個人消費は徐々に明るさが見られ始めているように思われる。消費者マインドの改善などを背景に小売業売上高は前月比プラスを維持すると予想する。(エコノミスト: 岩田 陽之助)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

3月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比 ▲1.2% 中央値：同 ▲1.2%

10年3月の全国CPIコアは前年比▲1.2%と、前月と同じ下落幅になると予想される。石油製品価格において前年の裏が出ることでCPIコアの前年比下落幅が縮小する効果は、2010年1月でほぼ一巡しており、足元では、食料・エネルギーを除く総合(米国型コア)の動向がよりダイレクトにCPIに反映される形になっている。その意味で、全国、東京都区部とも、米国型コアの動きに注目が集まる。なお、東京都区部の4月分では、高校授業料実質無償化の影響により0.5~0.6%ポイント程度押し下げられる見込みであることに注意が必要である。(主任エコノミスト：新家 義貴)

3月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：4.9%／0.48倍 中央値：4.9%／0.48倍

3月の完全失業率は2月から横ばいの4.9%を予想する。景気回復が遅れて波及することで雇用・環境は最悪期を脱している。もっとも、雇用過剰感は依然強く、企業は需要の増加に対して残業の増加や休業者の職場復帰など既存の労働力を活用することで対応している。そのため、新規求人の出づらいつつ状況が続いており、雇用環境の回復は緩慢なものに止まると予想される。完全失業率は当面高水準での推移が続くだろう。(エコノミスト：岩田 陽之助)

3月家計調査（農林漁家世帯を含む） 当社予想：前年比 +0.1% 中央値：同 +0.7%

3月の実質消費支出(全世帯)は前年比+0.1%、前月比+1.6%を予想する。百貨店売上等の業界統計や景気ウォッチャー調査などでは、比較的良好な結果が見られている。雇用・所得環境が最悪期を脱したことや株価の水準が上昇したことなどから消費者の購買意欲は持ち直しつつある。また、今月は教養娯楽耐久財がかなり強く出る可能性がある。4月からエコポイントの対象が変更されることを受け、駆け込み需要が発生していると思われる。(エコノミスト：岩田 陽之助)

3月鉱工業生産指数（前月比） 当社予想：前月比 +0.5% 中央値：同 +0.8%

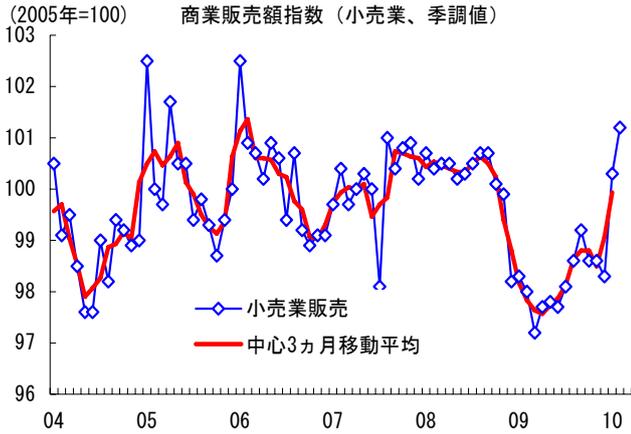
前月比+0.5%と2ヶ月ぶりの増加が予想される。2月の減少が一時的なものだったことが確認されるだろう。ヘッドラインの数字の他にも、先行きの回復ペースを占うという観点から4、5月の予測指数の結果が注目される。(主任エコノミスト：新家 義貴)

3月新設住宅着工戸数（前年比） 当社予想：前年比 ▲4.2% 中央値：同 ▲5.8%

3月の住宅着工戸数は、年率換算済み季節調整値83.9万戸、前年比▲4.2%を予測する。雇用、所得環境が最悪期を脱したことに加え、各種住宅取得支援策による効果も出始めていることなどから、前年比マイナス幅は2ヶ月ぶりに縮小すると予想される。先行きについては、マンション販売環境の好転や住宅版エコポイント制度をはじめとした各種住宅取得支援策の効果などを受けて緩やかな持ち直しが続くと思込まれるが、厳しい雇用、所得環境が続く下では、当面、低水準での推移が継続しよう。(エコノミスト：小杉 晃子)

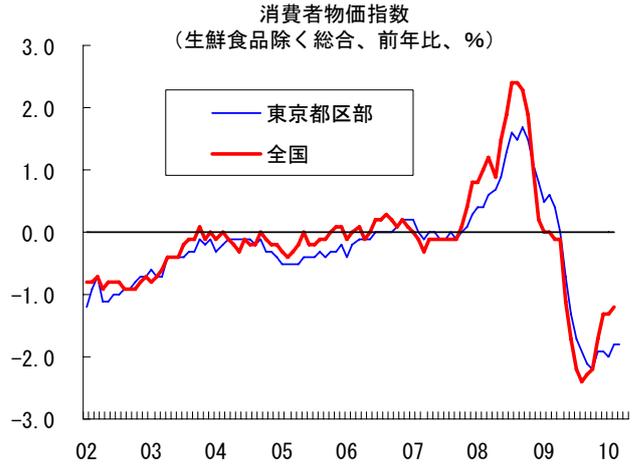
以上

図表 1

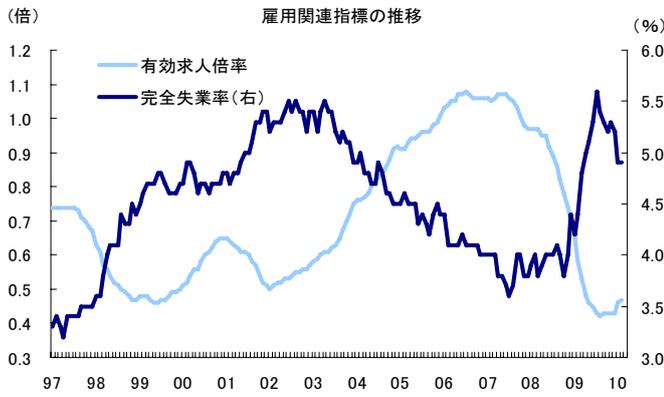


(出所) 経済産業省「商業販売統計」

図表 2

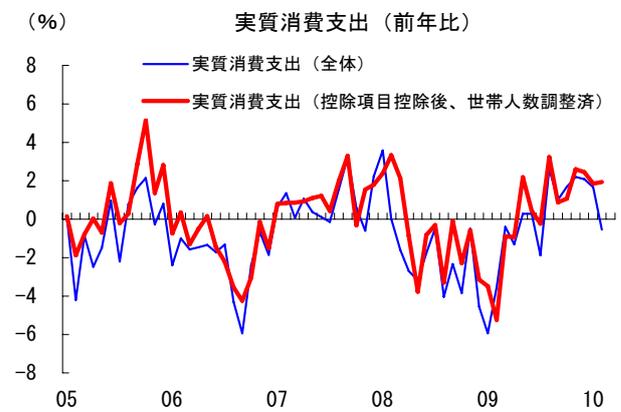


図表 3



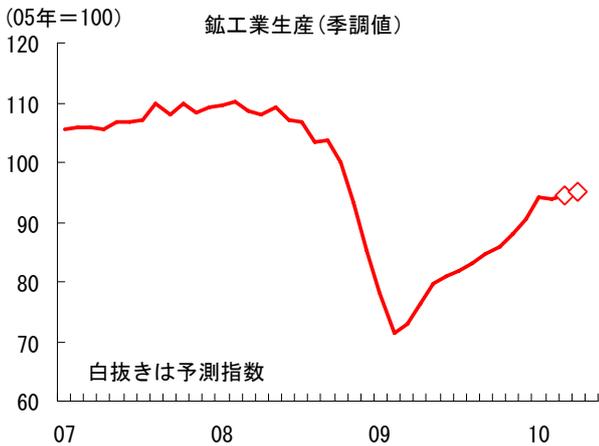
(出所) 総務省「労働力調査」 厚生労働省「一般職業紹介状況」

図表 4

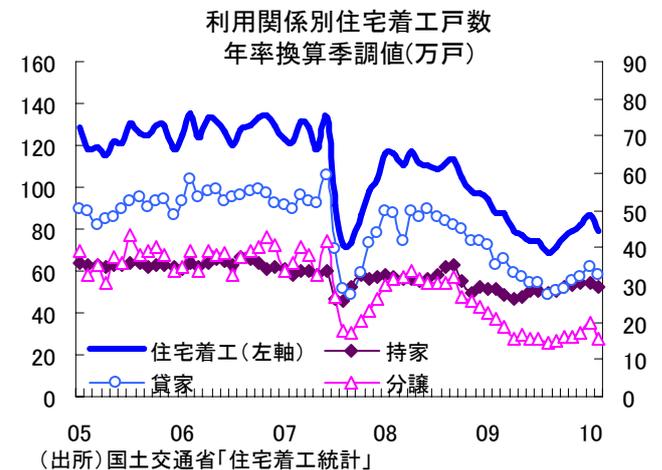


(出所) 総務省「家計調査」 「消費者物価指数」により当社作成

図表 5



図表 6



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

4月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/29 2月商業販売統計(8:50)	30 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月鉱工業指数(8:50)	31 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00)	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月軽自動車販売(14:00) 3月自動車販売(14:15) 白川日銀総裁挨拶	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50)
5	6 2月景気動向指数(14:00) 2月家計消費状況調査(14:00) 金融政策決定会合(~7日) 10年利付国債	7 日銀総裁定例記者会見(15:30)	8 2月国際収支(8:50) 2月機械受注統計(8:50) 4月金融経済月報(14:00) 3月景気ウォッチャー調査(14:00)	9
12 3月マネーストック(8:50) 3月貸出・資金吸収(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(3月16,17日分)(8:50) 2月特定サービス産業動態統計調査(13:30)	13 3月企業物価(8:50) 30年利付国債	14 2月商業販売統計・確(13:30) 白川日銀総裁挨拶	15 4月ロイター短観(8:30) 3月投入・産出物価指数(8:50) 2月鉱工業指数・確(13:30) 5年利付国債	16 2月毎月勤労統計・確(10:30) 2月建設総合統計(14:00) 4月月例経済報告
19 3月消費動向調査(14:00) 3月全国百貨店売上高(14:30)	20 2月第3次産業活動指数(8:50) 3月コンビニエンスストア統計(16:00)	21 4月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) 2月景気動向指数改訂(14:00) 西村日銀副総裁挨拶	22 3月貿易統計(8:50) 3月チェーンストア販売統計(14:00) 白川日銀総裁講演 20年利付国債	23 2月全産業活動指数(13:30)
26 3月企業向けサービス価格指数(8:50)	27 ※企業行動に関するアンケート調査(14:00) 2年利付国債	28 3月商業販売統計(8:50)	29	30 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月毎月勤労統計(10:30) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5/3	4	5	6 4月軽自動車販売(14:00) 4月自動車販売(14:15)	7 4月マネタリーベース(8:50) 3月家計消費状況調査(14:00)
10 金融政策決定会合議事要旨(4月6,7日分)(8:50)	11 10年利付国債	12 3月景気動向指数(14:00)	13 3月国際収支(8:50) 4月マネーストック(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー調査 40年利付国債	14 3月商業販売統計・確(13:30) 3月特定サービス産業動態統計調査(13:30)
17 3月機械受注統計(8:50) 4月企業物価(8:50) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月建設総合統計(14:00)	18 5月ロイター短観(8:30) 3月第3次産業活動指数(8:50) 4月消費動向調査(14:00) 5年利付国債	19 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30)	20 1-3月期GDP1次速報(8:50) 4月コンビニエンスストア統計(16:00) 金融政策決定会合(~21日) ※5月月例経済報告 20年利付国債	21 3月景気動向指数改訂(14:00) ※10年3月末市街地価格指数(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30)
24 3月全産業活動指数(13:30) 5月金融経済月報(14:00) ※4月チェーンストア販売統計(14:00) ※4月全国百貨店売上高(14:30)	25	26 4月企業向けサービス価格指数(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(4月30日分)(8:50) 白川日銀総裁挨拶	27 4月貿易統計(8:50) 2年利付国債	28 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月商業販売統計(8:50)
31 4月鉱工業指数(8:50) 4月毎月勤労統計(10:30) 4月住宅着工統計(14:00)	6/1 5月軽自動車販売(14:00) 5月自動車販売(14:15) 10年利付国債	2 5月マネタリーベース(8:50)	3 1-3月期法人企業統計(8:50)	4 4月家計消費状況調査(14:00)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。